



ロータリー：  
変化をもたらす

# 越谷南ロータリークラブ

## 会 報

第2110回  
2017. 7. 20

赤松会長テーマ：ひかり射し込む 会運営 みんなと共に

### 【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

### 【ゲストビジター紹介】

無し

### 【会長あいさつ】

赤松会長



皆さん今日は。先週は早々と大貫ガバナーの公式訪問を受けました。直前ガバナー浅水尚伸氏の労をねぎらう意味を含めての訪問でした。大貫ガバナーは非常に穏やかなお人柄でした。私自身はそれほどの緊張感もなく一安心で、自らの一年間が終わったのではと錯覚致しました。

さて昨今の異常気象は、九州に豪雨を降らせ一昨日は東京に雹が降りました。あきれざるばかりです。このような状況の中 2770地区においては、毎日曜日大宮或は川口と場所を変えながら部門セミナーが開催されています。出席なされる担当委員長様はくれぐれも体調管理をなされますようお願いいたします。体調不良の場合は石川幹事或は私に一報を下さい。体調不良での出席責任はありません。

幹事と私は越谷四クラブへの表敬訪問を行っております。どのクラブも会員増強へと自ら暗示をかけておられるようでした。我がクラブも各位の人的交流に期待しております。増強、増強と人馬はすすむ、(今は人、と車が)すすむどうかよろしくお願い致します。

### 【幹事報告】

石川幹事



- ①公式訪問の写真が出来あがりました。
- ②国際ロータリー2770地区より九州北部豪雨災害義援金(募集)の案内が来ています。
- ③国際ロータリー2770地区より第30回インターアクト年次大会の開催の案内が来ています。
- ④7月18日越谷中RC表敬訪問に行っておきました。
- ⑤小林秀次会員の所属委員会が決まりました。親睦委員会、出席委員会です。

### 【委員会報告】

・社会奉仕委員会

深井委員長



九州北部豪雨災害への募金について、地区からの要請もあり、一人1,000円を全員から頂きますのでご協力お願いいたします。

青少年交換について、派遣学生の宮澤海大君は8月14日に出発します。アントニオ君は8月18日に来日します。お見送り、お出迎えに参加できる方は木村委員長まで連絡してください。

・国際奉仕委員会

代理 赤松会長

8月18日から22日まで師弟交換で出発の応募が6名ありました。濱野会員から2名、久木野会員から2名、遠山会員から2名です。

地区補助金については、台中に桜の木を植えるという内容で、台中南區扶輪社へ連絡をしました。先方からの要望としては、小さい公園に少しずつ植えるようにしたい、共同で実施したいとのことでしたので、それらも踏まえて委員会を開催して検討します。

来年の台中南RCの記念式典は1月27日となりました。IMが1月25日なので過密日程となる見込みです。

### 【表彰・贈呈】

無し

## 【部門セミナー報告】

・公共イメージ委員会

木佐委員長



皆様こんにちは。7月8日(土)午後大宮ソニックシティで部門セミナーを受けました。前回2年前に受けた際は、越谷南RCメンバーがバラバラのテーブルに座りましたが、今回は赤松会長と長澤増強委員長と私が一つのテーブルにつき、他クラブの方々とディスカッションを行いました。

今年度の地区の目標は、車に例えるとトヨタのマークならトヨタ、ベンツのマークならベンツというように、ロータリーの歯車のマークを見てロータリークラブと認識して頂けるように公共イメージを上げていくことです。増強の話がメインでしたので前回の話をさせて頂くと、越谷北クラブさんが少年野球の奉仕活動をしており、春日部でも同じような活動をしているクラブがあるので、越谷のチームと春日部のチームで試合をして勝ち上がったチームが、県大会や全国大会、世界大会へと進むような規模にすることで、認知度も向上するのではないかと思います。ただ野球やサッカーだと大変な部分もありますので、例えばまだ認知度も低いハンドボールで同じようなことをして、ロータリーの公共イメージが上がるのではと思いました。

今年度から広報部門から公共イメージ部門に変更されたことで、ロータリーの友が少し変わっています。ニュージェネレーションという、ロータリーのプログラムに参加している若い人たちを紹介するようになっていきます。ディペンドラ君の了解を得て、私のほうで応募する予定です。また、「私の一冊」というものも増えました。人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近読んで感動した一冊を紹介してくださいということが新しく加わりました。文字数は320字以内です。あとはロータリーの友の原稿を書いた方に対してエールを送ったり感想を伝えたりするなどの内容も追加されています。もし何かあれば投稿しますのでご連絡ください。

・会員増強維持促進・選考委員会

長澤委員長



皆様こんにちは。木佐委員長からもありました通り、7月

8日に公共イメージ部門と会員増強部門の合同セミナーを行いました。なぜ合同かと言うと、増強するには公共イメージを良くしなければいけない、公共イメージが良くなれば増強にも繋がるという考え方で、合同での開催になったのだと思います。例えば、ロータリーはポリオ撲滅運動を全世界でやっていますが、認知度としてはあまり無いのが実情です。このような活動をうまくPRして公共イメージを上げることが増強にも繋がる、という意図があるのだと思いました。

増強の話としては、まず上尾西RCの河原畑部門委員長から、2770地区として今現在の2600名から2800名にしたいという目標が提示されました。200名の目安としては、73クラブが2.7名を純増させるという数字になります。また、女性比率を7%から10%にしたいという話もありました。退会防止の話もあり、入会3年未満の会員が退会することが多い傾向があるため、若い人にも役割を与えてクラブに必要とされている感覚を持ってもらうことが大事だということでした。部門委員長の話の後、各テーブルでディスカッションを行いました。

1つ目のテーマは「なぜ会員増強が必要なのか」。ロータリーとしての活動を続けるため、更にはクラブが存続するためには会費、人手が必要という意見が一番多かったです。その他には、増強とは言っても、ロータリーの会員自身がロータリーをよく知って楽しんでなければ、増強には繋がりにくいという話もありました。ロータリアン自身が輝かなければならないと感じました。

2つ目のテーマは「女性会員を増やそう」。女性会員を増やすには女性会員の同業や、会員の奥様が通っているサークルのようなどころへ声をかけるなどの話もありました。また退会防止の話もあり、女性だからという偏見にとらわれずに役割についてもらうことも大切という意見もありました。ロータリーは敷居が高いイメージがあるという話もありましたが、小規模な親睦から始めるやり方もあるという意見も述べさせてもらいました。地区増強委員の田中由佳さんから聞いた話だと、クラブ内だけでなく地区での女子会も開催しようという動きもあるようです。

最後に増強は増強委員会だけで達成できるものではありません。クラブの存続のために皆様ぜひお力をお貸しください。

・米山記念奨学委員会

田中誠委員長



前任の石野さんからは、しつこいほど頭を下げて集金することが仕事だと仰せつかりました。

セミナーではディスカッションを行いまして、浅水ガバナークラブが所属するクラブということで注目をされました。資料には各クラブの寄付額や人数などの数字が記載されており、私の仕事はまだまだ1年間がんばって集金しないとイケないと感じた次第です。皆様から預かった寄付は一度米山奨学会

へ上納し、奨学生を預かるクラブへ渡されます。毎月の奨学金やクラブの行事への参加費なども全てここから出されるので、結構な金額になっています。ディスカッションの内容としては、奨学生が将来どれだけ活躍しているかと、どのように集金したら良いかという、大きく2点でした。卒業生の連絡先は継続して管理したほうが良いという意見や、集金に関して強制的に電話、メール、FAX でお願するということ意見などが挙がっていました。

頑張りますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。

#### 【クラブフォーラム】

#### 赤松会長

##### ・赤松会長

会員慶弔規定について、還暦、古希、喜寿、米寿など明記されていない祝いごとを、クラブとして開催するのか、提案者が中心となって行うのか、つまり、規定に明記するのかわからないのかを検討したいと思います。

例えば私の場合は、古希のお祝いを渡邊バスターガバナーや神谷会員などと共に、盛大にして頂きました。仮に一人しかいない年度はどうすべきでしょうか。もちろんおめでたいことはやったほうが良いですが、一方で規定に無いことを当たり前のようにやるのはいかなものか、という意見もあります。

本日結論を出すわけではありませんが、このテーマについて皆様のご意見を頂きたいと思います。

##### ・中村会員

規定にまでは入れる必要は無いと思いますが、例えば夜間例会に組み入れるなど、毎年の習慣としては続けたほうが良いと思います。

##### ・木佐会員

私も規定には入れずに慣例化して続ければ良いと思います。

##### ・長澤会員

その年によって変わるのは問題ですので、クラブの中で決めることは決めておいたほうが良いと思います。

##### ・仁多見会員

還暦から行くと古希、喜寿、米寿、白寿などたくさんあり、それらを全てやっていくのか、さらに言うと50歳ぐらいからあるので、規定に入れるのであれば例えば古希、米寿は必ずやるなどといったように、絞ったほうが良いと思います。年度によって差があったり、会費を徴収してお金がかかったりすることもあるので、難しい問題ではあると思います。

##### ・久木野会員

毎年度、理事会に上がる話題ではありますが、なかなか自分から言い出せない方もいますし、祝いごとはしたほうが良いので、規定に明記したほうが良いと思います。

##### ・神谷会員

古希ではお世話になりました。私の場合、次は77歳であと5年です。仁多見さんの言う通り、全てやるのは大変なので、例えば古希、米寿など大きな節目を決めてやるのが良いのではと思います。

##### ・赤松会長

皆様、有難うございました。本日ここで結論は出しませんが、頂いた意見を踏まえて理事会で検討したいと思います。浅水直前ガバナーからも一言頂きたいと思います。

##### ・浅水直前ガバナー



今の定款、細則、規定の問題、クラブ行事の問題はなかなか難しいことだと思います。私も73クラブ回って年度計画書などにも目を通すなどしてきましたが、いろいろなクラブがありました。その中で思ったことは、民主的なルールでいろいろなことを決めていく、先ほど赤松会長がおっしゃった委員会から理事会への意思統一の問題、コンセンサスの取り方など非常に重要だと痛感しました。影響力の大きい人だけが重要なことを決めていくクラブも実際にはありましたが、やはり停滞する傾向があります。そのようにならないよう理事会の決議として残して、細則に載せるにしても慣習化するにしても、民主的に決めて頂くことが重要だと思います。最近私がロータリーについて思いますのは、他のクラブについて知ることは大事だということです。昨年度メーキャップツアーがありました非常に良いと思いました。自分のクラブでは当たり前のことが他のクラブではそうではないと感じることもあり、そうするとロータリーやクラブの本質が見えてくると思います。変えて良いことや悪いことも明確になってくるのではないのでしょうか。人間関係を大切にすることは我々にとっての第一義的な信条だと思いますが、そういう意味でも他のクラブの人との繋がりの中で情報を取り、自分たちのクラブを高めていくということが、我々には求められていることだと思います。

クラブ内の民主的なルールを守ること、対外的には他のクラブを知ることが、両輪の輪だと思っています。

ところで地区には卓話バンクがありますが、うちのクラブからも是非登録をして頂きたいと思います。他地区でも例会での卓話ができる人が増えてきています。神奈川の地区とは卓話者の交換をして、卓話の幅を広げようという話も去年出ました。昨年、長澤さんに連れて行って頂いた東京足立ロータリークラブの吉田さんというレフェリーをやっている方は、2770地区でも数多くの卓話をして頂いております。クラブを盛り立てていくために関心を持って頂いて、広い目でいろいろな問題を捉えられれば、良いクラブ運営ができるのではと思います。

##### ・吉田バスターガバナー



祝いごとは非常に良いと思います。規則に入れるかどうかは別途検討するとして、やるときとやらないときが無いようにして頂きたいと思います。ロータリーも楽しいことが少なくなってきたので、楽しいことは大いにやって頂きたいと思えます。また、ロータリーはご婦人を入れるということが盛んに言われていますが、ご婦人が楽しめるような行事、例えば都内に出て観劇をするなど、ロータリーに入るとこんなことができるという行事をしてみてもいいかでしょうか。

最後に、この暑さですので皆様水分を良くとって健康に留意してください。

————— クラブプロフィール —————

- 【姉妹クラブ】 国際ロータリー第3460地区  
台中南区扶輪社（中華民国台中市）
- 【友好クラブ】 国際ロータリー第2520地区  
宮古東ロータリークラブ
- 【例会日】 毎週木曜日（PMO：30～1：30）
- 【例会場・事務局】 〒343-0842

越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル2階  
TEL 048-987-5761  
FAX 048-987-5762  
E-mail [info@koshigayasouth-rc.jp](mailto:info@koshigayasouth-rc.jp)

### 【スマイル報告】



お陰様で

スマイル 22件 25,000円

累計 139,352円

ありがとうございます。

### 【出席報告】



例会日	平成29年7月20日		
会員数	49名	出席	27名
出席免除者	2名	欠席	20名
出席率	57.4%	前々回MU	3名
MU修正率	82.5%	会報担当：中村	